

# 問題は流域全体の問題

## 流域連携ゴミネットワークを立ちあげる



長良川で環境保全活動を続ける長良川環境レンジャー協会（岐阜市）と木曾三川ごみの会（桑名市）は、昨年4月、「長良川流域連携ゴミネットワーク」を立ちあげ活動を開始しました。

長良川環境レンジャー協会は中流部の岐阜市を中心に、木曾三川ごみの会は下流部桑名市の長島輪中を中心にゴミ問題に取り組んできました。それぞれに活動を続けてきましたが、ごみはなかなか減らず、むしろ増えている現状から、ゴミ問題を河川の源流から河口まで流域全体の問題としてとらえ、バラバラで活動するのではなく連携して活動することでゴミ問題を流域全体にアピールし、活動への参加者や拠点を

で)

に「ゴミネットワーク」を立ち上げました。

岐阜と桑名の長良川で共同清掃作業を実施（4回）、ごみパトロール（4回）を取り組んできました。また、長良川を流れる、郡上長良川ロータリークラブにも呼びかけ「長良川流域交流会」を開催しました。

清流長良川のごみ問題に取り組んでいきます。



共同パトロール  
(平田リバーサイドプラザで合流)

# 「山・川・里・海」グループ交流

## 3団体が集まりごみ問題

第1回長良川流域環境保全グループ交流会が10月22日、郡上市大和町の古今伝授の里「篠脇山荘」で開催されました。

長良川の上流、中流、下流で長良川の環境保全活動を行っている郡上長良川ロータリークラブ、長良川環境レンジャー協会、木曾三川ごみの会の3団体が交流しました。また、行政機関から国土交通省の河川事務所、岐阜県、岐阜市、郡上市からも担当者が参加しました。

交流会では、各団体の活動状況や行政機関の環境保全に対する取組状況が報告されました。報告を受けた後の意見交換から河口部まで様々な活動が行われているが、活動を持続し広げて保全グループのネットワークを作っていくことが必要だとの意見が

今後も、交流会を通じて、情報発信をし活動への参加者を増やします。



交

## ロータリークラブ(郡上市)

### 部地川でゴミストップ事業

ロータリークラブ」清流長良川でいたり、いるのは、と思ひ、長責任として鳥市街地の込むごみを



ゴミストップ金具を設置

ストップ事業を平成18年度から取り組んでいまデのような鉄製のゴミストップ金具を河床にかかごみを回収するユニタな方法で連携

## 長良川環境レンジャー協会(岐阜市)

### みんなで河原清掃・児童への出前講座も

「NPO法人長良川環境レンジャー協会」は、岐阜市内を流れる清流長良川を守るために、鶺鴒が開催される行楽シーズンの4月から10月まで毎週土・日・祝祭日に、正会員55名、準会員96名が2交代で河原清掃活動を行っています。

特に、岐阜市内の千鳥橋、長良橋上流、河渡橋付近は河原への車の乗り入れができるため、バーベキューや花火、川遊びの後のごみの放置や不法投棄が多く、年間で5トンあまりのごみを回収しています。利用者の多い夏場には、河



マナーアップキャンペーンで呼びかけ

## 木曾三川ごみの会(桑名)

### 長島輪中で100回を超える定

「NPO法人木曾三川ごみの会」は、平成16年から毎月1日と15日に長島輪中周辺で河川定期清掃活動を行っています。20人から30人で行われる定期清掃は昨年未までに136回を数えています。

不法投棄防止パトロールや船による水上パトロールなども行っています。また、活動情報をもとに「長島輪中ゴミ部の環境保全のため頑張っています。

年間に回収するごみは、90%のポリ袋で



定期清掃